

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1132	地域スポーツ活動推進事業	会計	01	一般会計	
34	だれでもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	款	10	教育	
		項	06	保健体育費	
		目	01	保健体育総務費	
		細目	103	生涯スポーツ推進事業	
		細々目	01	地域スポーツ活動推進事業	
担当部課名	教育部 生涯学習課 スポーツ振興室				
作成者氏名	前田 明伸	連絡先	22-9680		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	小学生・中学生の児童生徒 地域や団体でニュースポーツやリエクリエーションを広める指導者	気軽に体を動かすことの楽しさを知る レパートリーが増え、新しいスポーツの分野が開ける 運動をする人の数が増加する		
本年事業内容	子ども向けスポーツ教室の開催(子ども水泳教室 子どもキンボール教室) 成人向けスポーツ教室の開催(バドミントン教室 3B体操教室) ニュースポーツ教室の開催(カローリング教室) スポーツ大会の開催(バレーボール大会 ソフトバレーボール大会 サッカーフェスタ) スポーツ指導者活動育成事業(指導者向け講座の開催)			
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.6	0.4	0.4
人件費合計(A)	4,320	2,880	2,880
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	901	833	833
報償費	741	700	700
会場借上料等	160	133	133
その他			
合計(A+B)	5,221	3,713	3,713
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	5,221	3,713	3,713
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
教室募集人数	人	168	150	150			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
教室の応募者人数の比率 教室応募者人数/教室募集者人数	教室の内容によって差はあるが、現在の状況からの募集の人数を設定し、募集人数を分母とし応募者人数を分子としてその比率を必要とされているかの指標としました。	%	100 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

住民の方の多くが取り組んでいない、取り組んでいて人口の少ないスポーツやリエクリエーション、協会並びに団体として普及されていないスポーツ、これらを把握し普及することは、スポーツ人口の増加につながります。住民の方がどんな種目や内容を求めているかを判断し又内容を変更していきたい。

評価	必要性	4	健康になるために健康を維持するために体を動かすことがいいことだと思っている方が多いのですが、自分の求める自分にあった運動を求めていると思います。競技種目だけでなく楽しむスポーツ、ストレス解消するための運動を普及するために情報の収集と実施に努めてまいります。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		